

粟島浦小学校【ランドデザイン】

学校教育目標及び令和6年度重点目標

【学校教育目標】

- ・自ら進んで学習する子ども(知)・思いやりを持ち助け合う子ども(徳)・めあてを持って体を鍛える子ども(体)

【令和6年度重点目標】

- ・「自ら学ぶ児童生徒の育成」を目指した授業改善の推進(知)
- ・自己理解と他者理解双方向による人間関係づくり(徳)
- ・年間をとおした基礎体力の向上に向けた取組の推進(体)
- ・島の資源や海洋を活用した未来を切り拓く力や郷土愛の育成(地域)

豊かな人間性

・認め合い、他者と協力する ・最後までやり遂げる

健康・体力

・運動に親しむ ・体力向上 ・生活習慣

資質・能力の育成

<p>何ができるようになるのか (学校教育の基本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語能力やコミュニケーション能力を高め、基礎的・基本的な知識や技能が確実に身に付き、活用していくことで深く理解する。 ・問題解決能力や情報活用能力を高め、解決したことを相手に分かりやすく伝えるよう工夫して表現する。 ・主体的・協働的に学ぶことで自他のよさ(個性・可能性)を理解し、自己の個性を發揮しながら協力し、認め合って生活できる。 		<p>何が身に付いたのか (学習評価を通じた学習指導の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことや体験したことを学校生活や家庭生活のどこに生かしたらよいか考えて学んでいる。 ・学習によって身に付けた知識・技能から新たな気付きや課題を発見し、解決しようとしている。(問いの連続) ・学習評価の振り返りをとおして目指す姿を常に意識しながら家庭学習(自学)に生かすことができる。 ・校外に出ても自他のよさ(個性・可能性)を理解して自分の力を發揮し、友達と協働しながらよりよいものを創り上げることができる。
--	--	--

子供の発達をどのように支援するか

- ・一人一人を尊重するとともに、特性及び教育的ニーズを把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・単元計画表やルーブリックを活用することで、「見通し」と「振り返り」のある授業を行い、児童の学習改善を図る。
- ・一人一人の心の揺れや心配事に寄り添い、不安に即時対応することで信頼関係を築く。

何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・言語能力・情報活用能力・問題解決能力の基礎・発展。
- ・総合的な学習の時間を中核とした「粟島のよさ」の発信。
- ・望ましい学習習慣の確立。
- ・現代的な課題に対応して求められる資質・能力。
- ・コミュニケーション能力・情報活用能力。
- ・自らの学習を評価することで学習改善を図る力。
- ・自他のよさ(個性・可能性)に気付くための能力の育成。

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・主体的・対話的な学習活動。
- ・教科横断的なカリキュラムマネジメントにより、資質・能力や学習内容を結び付けて学ぶ。
- ・授業の「振り返り」をもとに自己の探求課題を家庭学習につなげ、シームレスに学ぶ。
- ・自ら自分の学習を評価することで継続、改善しながら学びの質を高めていく。
- ・ICT機器の有効活用による「考えの共有」と「対話の充実」。

**実施するために何が必要か
(指導体制の充実、家庭、地域との連携・協議)**

- ・校内研修の充実(研究授業の実施と、振り返りによる日々の授業改善の充実)。
- ・定期的な教育相談や個別の面談の実施。SC・SSWとの連携。
- ・地域に開かれた教育課程の実現(地域人材の活用・CSの活用)。
- ・保育園・教育委員会・地域相互の情報共有及び連携・協働。
- ・目指す子ども像を共通理解し家庭・地域との情報共有及び連携・協働。
- ・一人一人の児童生徒のよさ(個性や可能性)を見抜き、伸ばすことのできる教師力。
- ・一人一人の教職員のよさ(個性や可能性)が生かされる校務分掌組織体制。
- ・共有センター会議をとおして、情報共有及び連携・協働。
- ・『10%の改革 70%の手応え 100%の自信』で挑む職員集団。